

資料 2

入間市障がい者福祉プラン令和3年度取組状況報告書

●施設入所者の地域生活への移行者数

項目	人数	備考
令和4年3月31日時点の入所者数(A)	130人	令和4年3月31日の施設入所者数
地域生活移行者数	2人	令和3～令和5年度における施設入所から地域生活に移行した者の数

●福祉施設から一般就労への移行者数

項目	数値	備考
令和3年度の一般就労移行者数(実績)	15人	令和3年度において福祉施設を退所し、一般就労した人の数

●就労移行支援事業の利用者数

項目	数値	備考
令和3年度末の就労移行支援事業の利用者数(実績)	58人	令和3年度末において就労移行支援事業を利用した人の数

●基本方針1 健康とくらしをまもる施策

重点課題(1) あらゆる障がい者に対応した地域包括ケアシステムの構築

施策1	地域生活支援の充実を図る
◆令和3年度取組み内容(結果) <ul style="list-style-type: none"> 障がい者の地域生活支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> 「いるまびあ」 19回開催 利用者実数14名、のべ94名 「家族びあ」 5回開催 利用者実数16名、のべ42名 保健・医療・福祉関係機関の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉医療地域連携会議を年1回実施しました。 支援が必要な障がい者の家庭へ訪問し支援を行いました。 	

<p>精神保健福祉訪問（令和3年度：実人員45人 延人員136人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立生活援助サービス体制の整備 個別支援会議等で自立生活援助の制度について説明し、周知を図りました。 ・ 地域移行支援・地域定着支援の利用促進 「入間市精神保健福祉医療地域連携会議」をオンラインで実施し、45機関68人の参加があり、地域移行・地域定着の事例報告や事例検討をしました。
--

重点課題(2) 地域で安心できる暮らしの支援

施策2	いざという時のための支援体制をつくる
<p>◆令和3年度の実施内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流の促進 「誰一人取り残さない地域社会」を実現するために連合区長会との連携により各地域で継続した情報提供に取り組みました。 ・ 避難行動要支援者避難支援制度の周知等や個別計画の策定・充実 個別支援計画の作成を促進するため、制度変更を行いました。 個別支援計画の作成件数が7件から25件になりました。 ・ 地域の避難支援体制の整備 災害時の安否確認や避難支援、日頃からの顔が見える関係づくりなどに役立ててもらうため避難行動要支援者名簿を自主防災会に提供しました。 ・ 災害に対する家庭での備えについての啓発 市公式ホームページや防災番組で防災に関する周知・啓発を行いました。 入間市防災ガイドブックの改訂版を全戸配布しました。 	

施策3	災害時に安心して避難生活を送るために
<p>◆令和3年度の実施内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄品の充実、必要物資の調達ルートの確立 計画的に備蓄物資を整備、充実を図りました。 ・ 障がい者の意見を反映するための体制づくり 防災会議を活用しました。 ・ 福祉避難所の指定を増やす 市内の福祉施設1か所と協定締結をしました。 	

基本方針2 地域で暮らしていくための支援

重点課題(3) 相談支援の充実

施策 4	身近で利用しやすい相談のしくみづくり
<p>◆令和3年度の取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業の充実 障害者基幹相談支援センターが年10回相談支援事業所連絡会を開催し、意見交換や関係機関の情報共有等をおこなった。また、困難ケースの検討をおこなうことで、相談支援の質の向上を図ることができました。 相談員を対象とした研修の実施 障害者基幹相談支援センターによる福祉学習会をオンラインで開催をし、関係機関31人が参加した。教育と福祉の連携強化を図ることができました。 地域移行支援・地域定着支援の利用促進 「入間市精神保健福祉医療地域連携会議」をオンラインで実施し、45機関68人の参加があり、地域移行・地域定着の事例報告や事例検討をおこないました。 	

施策 5	障がい児相談支援の実施
<p>◆令和3年度の取組み内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入間市児童発達支援センターういずを中心とした関係機関の連携強化 医療的ケア児連携会議を7回開催し、アセスメントや地域課題について共有しました。 事例検討による相談支援の質の向上 障害者基幹相談支援センターが開催・主催した、事例検討やグループスーパービジョン、学習会等を通じて地域課題の抽出や情報共有等を行い、地域の相談支援の質の向上を図ることができました。 支援が必要な家庭の訪問等への訪問等による把握と支援 専門職が支援に必要な家庭へ訪問し支援を行いました。 現状としては、相談があった際に対応している状況です。 障がい児支援におけるワンストップサービスの充実 相談支援 保健師、保育士、指導主事、社会福祉士による基本相談件数 412件 うち小学生以下 374件 中学生以上 38件 児童発達支援 (元気キッズ) 児童発達支援 在籍児童数 64人 利用実績 (延べ人数) 2,282人 保育所等訪問支援 利用人数 9人 利用実績 7件 日中一時支援 利用人数 15人 利用実績 (延べ人数) 564人 	

重点課題(4) はたらく支援の充実

施策 6	はたらくを支援する
------	-----------

◆令和3年度取組内容(結果)

- ・入間市就労支援センターりぼんの充実
毎月就労支援センターりぼんと毎月定例会を開催し、意見交換や情報共有を行い、連携を図りました。また、市、基幹相談支援センター、相談支援センターりぼん、就労支援センターりぼんの意見交換等を毎月実施し、具体的事例を挙げ各関係機関の意見交換や各関係機関の役割に関する再確認を行うことができました。
- ・企業に対する障がい者理解及び障がい者雇用の啓発
障がい者の法定雇用率の引上げ等に関して入間市ホームページで情報発信や入間市工業会会員に対して、情報を随時発信する等啓発に努めました。
- ・市における障がい者雇用の推進
入間市障害者相談・就労支援センターりぼんと連携し、新たに障がいのある職員を1人雇用しました。

基本方3 障がいのある子どもとその家族への支援

重点課題(5) 障がいのある子どもとその家族への支援の充実と、共に学び共に育つ場の整備

施策7	子どもの育ちをみんなで一緒に支えていける支援体制の充実を図る
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入間市児童発達支援センターういずを中心とした支援体制の充実 児童発達支援センターういず、障害児相談支援事業所、障害者基幹相談支援センター、自立支援協議会等と情報の共有を行い、連携の強化を図りました。 ・障がい児やその家族に向けた早期発見、早期支援の充実 教育・福祉・保健の連携に伴うワーキングチームに参加し、また、教育センターと定期的な意見交換会を実施し、情報の共有や必要に応じて個別ケースの実際の支援を検討する等して、早期的包括的な支援につなげました。 ・訪問支援体制の整備 医療的ケア児コーディネーター連携会議を7回開催し、情報共有や支援等について協議しました。また、災害時に適切な行動ができるように「災害時サポートブック」を作成し、重心児に配布しました。 保健師等の専門職が乳幼児健診や訪問の機会を通じ、障がい児の早期発見、早期支援に努めました。また、重症心身障がい児を把握した際には、早期介入に努め、適切な支援が受けられるよう関係機関へ繋げ、連携して対応しました。 	

施策8	一人ひとりが違うことの素晴らしさを共に学ぶ保育・教育に取り組む
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ保育・教育の充実 令和3年度職員配置・要加配児童入所状況 	

保育所加配職員数 48人

要加配児童数 67人（公立10施設）

今年も多くの配慮が必要な児童の受入れ及びきめ細かい保育が出来ました。

・教職員研修の充実

通常学級における特別支援教育研修会と「特別支援教育基礎理解研修会」を年間で2回実施しました。各小中学校より1名以上の参加を呼びかけ、27校中25名が参加した。障がいについての基礎理解や発達障がいに関わる支援について研修を進めました。

・心のバリアフリーの推進

感染症予防対策を講じながら特別支援学校からの支援籍の受け入れを行いました。各特別支援学校と関係小中学校の教師は支援籍実施前に、連絡調整等連携を丁寧に図りながら行うことができました。受け入れ側の小・中学校も温かく特別支援学校からの児童・生徒を受け入れ、お互いにとって望ましい交流となりました。

基本方針4 生き生き暮らせるまちづくり

重点課題(6) 福祉意識の向上とボランティア活動の推進

施策9	障がい者福祉について関心や理解を深めるために
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none">障がい者理解のための講座等の推進 <p>統合失調症講座（オンライン講座） 視聴 計242回 「統合失調症の基礎知識、対応について」配信 参加者67人</p> <p>精神保健福祉講演会（YouTubeによる動画配信） 視聴 計314回 「気づいていますかSOS、聞こえていますかSOSゲートキーパー養成講座」</p> <ul style="list-style-type: none">①市民対象 配信 参加者29人職員対象 配信 参加者13人② 配信 参加者31人 <p>発達障がい者支援事業講演会（年1回） 参加者32人 「大人のアスペルガー症候群（自閉症スペクトラム）～本人・家族ができる工夫～」</p> <p>こころの健康講座（随時） 参加者86名</p> <p>全小中学校27校において総合的な学習の時間や社会科の時間で障がい者教育を実施した。車いすに乗っての移動や目を隠しての移動を実際に行うことや、障害のある方からのお話を聞く等体験活動を行った。さらに、調べ学習をとおして、障がい者やその家族、生活などの環境について理解が深まりました。</p> <p>障がい者に関する講座の実施状況、参加者数</p> <p>○人間市人権啓発講座</p> <p>金子公民館</p> <p>演題 障がい者の人権「多様性を尊重する社会」～障害の社会モデルから考える～ 講師 野澤 純子 氏 参加者 25名</p> <p>障害者週間についての記事を広報いるまに掲載しました。</p>	

手話のコーナーを奇数月に掲載しました。
 広報いるま6/1号に手話言語条例の特集に掲載しました。
 市公式ホームページに手話動画を掲載しました。

施策10	福祉ボランティア活動を支援する
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとボランティアを必要とする現場とを結びつける情報提供 サロン活動の支援、ボランティアの養成、移送サービス事業等のボランティアに関する活動を支援するため、福祉ボランティア活動の中核を担っている社会福祉協議会に対し、運営費の補助を行いました。 市民活動センターを拠点として、市民活動、地域活動等の場の提供を年間通じて行いました。今後も「まちづくりサポートネット元気な入間」と連携して、福祉ボランティア活動に限らず、市民活動、地域活動のきっかけとなる場の提供を行いました。 	

重点課題(7) 障がい者スポーツ・文化活動を支援する

施策11	障がい者のスポーツ・文化活動を支援する
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツ活動の促進 健康福祉センタートレーニング室の利用について、障害者手帳をお持ちの方は無料で利用いただきました。 障がい者団体からの希望に応じて、スポーツ関連用品の貸し出しを行いました。 	

重点課題(8) 移動等の円滑化の促進

施策12	だれもが安心して使いやすい施設とするために
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等を整備する際の障がい者の意見を反映する機会の確保 「公共施設保全計画」(ユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する考え方等を含む)に基づき、施設所管課から施設整備に関する協議を行いました。 障がいを持つ方や介護者等が利用しやすく、安全な環境になるよう、扇小学校、東町小学校、豊岡中学校に障がい者用駐車場を整備しました。 	

基本方針5 権利擁護

重点課題(9) 権利擁護の推進

施策13	成年後見制度の周知と成年後見制度利用支援事業の推進
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none">・市民後見人養成講座の実施 21名受講(当年度受講者19名、前回未受講者2名) フォローアップ研修を開催 市民後見人(後見支援員) 5名受講・法人後見事業の体制の充実 成年後見制度利用支援事業による申立件数は17件。 関係課や地域包括支援センター等との連携により利用促進が図られました。・市民後見人研修等の支援体制の確立 社会福祉協議会主催の市民後見人養成講座に講師協力し、市民後見人の養成に取り組みました。	

施策14	障がい者の権利をまもる
<p>◆令和3年度取組内容(結果)</p> <ul style="list-style-type: none">・市職員への研修等の実施 新規採用職員研修(中期)テーマ「人権問題」21名が受講。 入所2年目以降かつ副主幹級以下の職員対象 テーマ「DET(障害平等研修)」18名が受講。 新任課長対象 テーマ「障害がある職員への合理的な配慮について」14名が受講。・障がい者差別解消支援地域協議会の差別解消についての取組の推進 自立支援協議会の中で「差別解消法」について啓発を行いました。 また、生涯学習フェスティバルにオンラインで参加し、「合理的配慮」や「共生社会」について啓発を行いました。・障がい者虐待防止のための連携協力体制の強化 障がい者虐待に関する相談や通報等については、関係部署や基幹相談支援センター、相談支援事業所等と連携し、事実確認等早期に対応することで、被害者等の安全確保を図りました。・障がい者の権利をまもるための条例の調査研究 手話言語条例が制定され、リーフレットの作成、広報いるま特集号の掲載等手話の普及に務めました。	